

令和8年度第1回釧路方面中標津警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年6月22日（月）午後3時00分から午後4時10分までの間

2 開催場所

釧路方面中標津警察署署長室

3 出席者

(1) 協議会委員 5人（定員7人）

会 長 木庭 繁男

委 員 須郷 洋機、丸田 光雄、杉本 秀、尾上千津子

(2) 警察署員 8人

署 長 長森 敏文

副 署 長 米谷 昌史

警務課長 増野 広介

会計課長 櫻口 佳宏

生活安全課長 村瀬 寛之

地域課長 千葉 篤

交通課長 渡辺 智博

警備課長 堀川 智弘

4 署長挨拶

5 会長挨拶

6 業務概況説明

令和8年5月末における業務概況説明及び警察署の活動状況について説明を行った。

業務概況説明に対する質疑応答はなし

7 要望・意見と警察説明について

(1) 交通対策について

ア バイクの騒音について

委員側 中標津町内で最近、夜に車やバイクのエンジン音が聞こえたりすることがあります。

中標津に、暴走族がいるのでしょうか。

警察側 現在、暴走族として活動している集団はありません。

一昨年、神社祭で車両やバイクの暴走行為があり、改造車の取締りを実施しました。結果、昨年は車両などの騒音に関する通報がほとんどなかったと記憶していますが、また最近、増え始めているのかもし

れません。

これから、各町でお祭りが予定されていますので、不正改造に対しては、厳正に対処していきたいと思います。

イ 自転車の指導取締りについて

委員側 外国人が自転車に乗る際、ヘルメットを被っておらず、マナーが少し悪いように感じます。

何か対策をとったりしていますか。

警察側 今年4月1日の道路交通法の改正により、16歳以上の自転車利用者が乗車中のスマートフォン使用など危険な違反行為をした場合に、青切符（交通反則通告制度）が適用されることになりました。

しかし、ヘルメットの着用については、努力義務のままです。身の安全を守る大切なアイテムになるので、今後も着用を呼びかけていきたいと考えています。

また昨年6月、中標津東小学校のグラウンドを使用して、外国人留学生を対象とした体験型自転車交通安全教室を行いました。今後は、外国人を雇用する企業や就労目的の外国人に対して交通安全啓発を行うなどをし、自転車の交通ルールの周知を図っていければと思っています。

ウ 運転免許証の返納について

委員側 高齢者の運転免許証の自主返納件数は増えていますか。

また、高齢運転者の交通事故は増えていますか。

警察側 数値上での即答はできませんが、高齢者の自主返納数は増えていると感じます。

しかしながら、管内の公共交通機関がそれ程多くなく、未だに免許返納に踏み切れない高齢者もまだまだ多くいるのではないかと感じています。

また、一概には言えませんが、高齢運転者の交通事故も増えていると思います。

警察では、複数回事故を起こした高齢者への安全指導や、認知症の疑いのある者に対する安全相談を行っており、相談しやすい環境を整えています。

また、＃8080という相談ダイヤルもありますので、返納に迷っている人がいれば、是非、周知してほしいと思います。

(2) ヒグマ対策について

委員側 ヒグマ対策として、警察では、猟銃の取扱い訓練を行っているのですか。

警察側 警察署にガバメントハンターのような職員はおりませんので、猟銃の取扱い訓練は行っていません。

ヒグマが出没した場合は、鳥獣保護法に基づいて、自治体に要請して、猟友会のハンターと協同して対応しております。

(3) 特殊詐欺対策について

委員側 新聞で当署管内の特殊詐欺被害発生を知りました。被害にあった人は、詐欺だと知っているはずなのに、なぜ当事者となると騙されてしまうのでしょうか。

効果的な被害防止の対策はあるのでしょうか。

警察側 前回も説明させていただきましたが、騙そうとする側は、国際電話、テレビ電話、偽の逮捕状などとあらゆる手段方法を駆使し、高齢者等に電話をかけるなどして騙そうとしてきます。また、組織化、及び手口の巧妙化が進み、AIを悪用した手口も既に発生している可能性があります。

警察としては、各種広報媒体を活用した注意喚起を行ったり、スマートフォンに「特殊詐欺対策アプリ」をダウンロードしてもらったり、自宅や会社の電話を迷惑電話防止設定や国際電話着信拒否などの機能付き電話に切り替えてもらったり対策を講じています。

(4) 警察官採用試験受験者確保方策について

警察側 7月1日から警察官採用試験が始まりますが、受験者の確保に向けた方策について御教示いただきたいと思っております。

委員側 今は、どこの会社にも若者が少ないのが現状である。

特に、転勤のある仕事は不人気だと思う。実際、転勤する親を見て育った子は、地元に残っている者が多い。

住民は、警察の仕事は知識や体力を必要としており、大変であるというイメージがあるので、希望者が少ないのではないかと思う。

警察側 ありがとうございます。委員の意見を参考にさせていただき、受験者の確保に努めていきたいと思えます。

8 次回開催予定

令和8年11月中旬から下旬を予定